

Birju Maharaj in Japan 2014

インドが誇る今世紀最高の舞踊家、26年ぶりの来日
ビルジュー・マハーラージ来日公演
Kathakar ~The Storyteller~



**カーネギー・ホール（ニューヨーク）でスタンディング・オベーションを誘った
豪華メンバーを率いての来日公演!!**

**名花シャージュワティー・セーン、今回が初来日となるディーパク・マハーラージ、
実力派ダンサー達の渾身の舞が炸裂する!**

インドの古典舞踊カタックの巨匠にして、インドの人間国宝ビルジュー・マハーラージの来日公演が、
パండిット・ビルジュー・マハーラージ招聘委員会の主催により、5月11日に東京、17日に大阪で開催されます。
今回のビルジュー・マハーラージ氏の来日公演は1988年以来、実に26年ぶりとなります。

＜資料のご請求、ご取材のお問い合わせ＞

◎パండిット・ビルジュー・マハーラージ招聘委員会

代表 佐藤雅子 Tel: 090-8613-8509 / Email: info@miyabi-kathak.com

ボリウッドの大女優マドゥリーが心より師と仰ぎ、
シタールの故ラヴィ・シャンカールが深く親交を求め、
タブラのザキール・フセインが共演を望む唯一の舞踊家。

インドの国民的大舞踊家ビルジュー・マハーラージ。

ダンスだけにとどまらずパーカッショニスト、作曲家、作詞家、歌手、指導者.... 全能の芸術家として、インドにおけるマハーラージの知名度と人気は絶大です。アブドゥル・カラーム元大統領、ナラシンハ・ラオ元首相、シャールーク・カーン（ボリウッドのトップスター）、アニール・カプール（スラムドッグ・ミリオネイヤーに出演）を始め、インドの超セレブ達もマハーラージの舞台へ頻繁に訪れています。



世界最高峰のカタック、トップダンサー達が共演する夢の舞台。

今回の公演では、ビルジュー・マハーラージと共に、長年に渡りマハーラージに師事するアビナヤの女王セーン、マハーラージの息子であり驚異のフットワークを奏でるディーパク、若手トップダンサーのマフアー・シャンカールらを迎えます。

演奏陣は、シタールにチャンドラチュール・バタチャルジー、タブラにウトウパル・ゴーシャルの豪華メンバー。インド本国でもこれだけのメンバーが揃う公演はなかなか観ることができません。たいへん貴重な機会をどうぞお見逃しなく。



■ 公演データ

Bilju Maharaj in Japan 2014

ビルジュ・マハーラージ来日公演

■ 東京公演 (プレミアム公演*)

日時：2014年5月11日〔日曜日〕

15:30開場 16:00開演

場所：シアター1010 東京都足立区千住3-92 千住ミルディス I 番館 10F TEL:03-5244-1010

前売り券：〔全席指定〕ダイヤモンド席¥11,000／プラチナ席¥10,000／プレミアム席¥8,000
／SS席 ¥7,500／S席¥7,000／A席¥6,000／B席¥5,500／C席¥4,000／D席¥3,500

舞台監督 原田拓巳、照明 市ヶ谷昌典、音響 金森祥之

協力：みやびカタックダンスアカデミー、(株)リクランド、(有)オアシス

後援：インド大使館、公益財団法人 日印協会、独立行政法人 国際交流基金、

ディスカバーインディアクラブ、NPO法人 日印交流を盛り上げる会

*東京公演は、照明・音響・演出にも尽力し、最高の空間でご覧いただくプレミアム公演です。

■ 大阪公演

日時：2014年5月17日〔日曜日〕

16:00開場 16:30開演

場所：クレオ大阪東 大阪市城東区鳴野西2-1-21 TEL:06-6965-1200

前売り券：〔全席指定〕SS席 ¥5,800／S席¥4,800／A席¥3,800

協力：Ruchika Indian Dance Academy、Namaste Works

後援：インド大使館、在大阪・神戸インド領事館、在日本印度商業会議所、関西日印文化協会

■ ビルジュー・マハーラージについて

Pandit Birju Maharaj

パドマ・ヴィブーシャン・パンディト・ビルジュー・マハーラージ

宮廷舞踊家一族・カールカー・ビンダーディーン流派 第7代家元

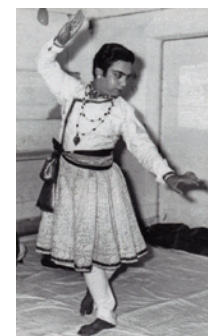


激動の半生

1938年2月4日生まれ。宮廷舞踊家の父を持ち、幼少期は何不自由のない生活を送る。しかし、1947年インド独立により生活が激変（藩王支配の時代から民主主義の時代に移った）。10歳のときに父親が逝去。宝石類を売り払ってムンバイに渡り、叔父にカタックを習う。その後、13歳でデリーに移り、カタックを教え始めた。自転車で移動しながら家々の戸を叩き、生徒を募ったこともあったという。

若きカタックの改革者

15歳で芸術学校の教職を得たビルジュー・マハーラージは、天賦の才能を活かし、新しい時代に合った斬新で革新的なアイディアをカタックに取り込み、それまで民族・宮廷色が強かったカタックを舞台芸術として開花させた。28歳でサンギート・ナータク・アカデミー賞（インド国立音楽演劇協会賞）、1986年パドマ・ヴィブーシャン（インド勲二等）を受章するほか、数多くの賞を受賞している。



マルチアーティストとして

ビルジュー・マハーラージの活躍は舞踊家だけにとどまらない。パーカッショニスト、作曲家、作詞家、歌手、指導者…全能の芸術家として、インド国民から広く愛されている。また、マハーラージを心より師として仰ぐボリウッドの大女優マドゥリー・ディークシトとの関わりも有名で、2002年に製作されたインド映画の超大作「Devdas」では、劇中歌「Kaahe Chhed Mohe」の歌と振り付けを担当、その高い芸術性が絶賛された。



そして、円熟の境地へ

76歳となった現在でもビルジュー・マハーラージの活躍に衰えはない。2012年には世界的に有名なタブラ奏者ザキール・フセインとアメリカ公演、2013年にはインドの人気テレビ番組「Jhalak Dikhhla Jaa」にてマドゥリーと共演する他、米国サンフランシスコ民族舞踊祭特別功労賞を受賞。映画「Vishwaroopam」にてインド映画賞最優秀振付賞を受賞するなど、円熟の時を迎えさらなる輝きを放つオーラは計り知れない。



ビルジュー・マハーラージのダンス

マハーラージのダンスは、伝統的な「カター」（物語）に基づいている。足につけたグングルー（鈴）を美しく奏で、歌、語り、視線、身体表現を通して、神話を紡いで観客に魅せる。足裏が奏でる、その美しく高い音はまさしく天の音。伝統的な要素を残しながら新しく創りあげた独特なリズム、愛に満ち溢れた表現とオーラ。マハーラージのダンス・パフォーマンスを見るために、本国インドの劇場では常に長蛇の列ができる。至福の一時を共有したいがために。神が支配する領域に触れたいがために―。



■ 出演者

シャーシュワティー・セーン

コルカタ出身。幼少より伝説の女性舞踊家レーバー・ヴィディヤールティーに師事。国立舞踊学校カタック・ケーンドラに入学以来、43年以上ビルジュー・マハーラージに師事。1977年サタジット・レイ監督の「The Chess Players(チェスをする人)」に出演。2003年、オランダ人音楽家レイ・バンクとの国際共同制作「ロミオ&ジュリエット」主演・振付。翌年、サンギート・ナータク・アカデミー賞受賞。指導力も高く評価されており、年間を通じて国内外のワークショップに招聘されている。



Saswati Sen

ディーパク・マハーラージ

ビルジュー・マハーラージの次男。幼少よりビルジュー・マハーラージに師事。9歳から舞台に立ち、父親と共にインド国内はもちろん、数多くの海外公演に参加。父親譲りの卓越したリズムセンスと力強く正確なフットワークに加え、選ばれた者のみが持つオーラが観客を狂喜させる。観る人全てを魅了するダンサー。



Deepak Maharaj

マフアー・シャンカル

アーティストの両親を持ち、幼少よりビルジュー・マハーラージに師事。ボリウッド映画「Gadar」、「Devdas」に出演。古典的な美しさと独特な存在感に、映画監督から女優としてスクリーンに出て欲しいと熱望されたが、マハーラージが断ったという経緯がある。将来を嘱望される女性トップダンサーとして、最年少である。



Mahua Shankar

佐藤雅子

フラメンコ等を経て1995年渡印、カタック・ケーンドラに入学。1997年よりビルジュー・マハーラージに直接師事。舞踊団団員として数多くの公演に参加。1999年よりインド政府国費奨学生。2005年に帰国、翌年みやびカタックダンスアカデミーを設立、後進の指導に情熱を注ぐ。国内・海外公演多数。新宿芸術家協会会員。



Masako Sato

ナリニ・トシュニワル（大阪公演）

11歳よりマナク・ダット・ジョドプリ師のもとでカタックを習い始める。チャンディール大学カタックの修士号を取得。1990年インドのアジメールにて「ルチカ」を設立、1992年に日本に移住して以来大阪、神戸を中心に運営している。日本各地でカタックの公演を行い、インドとカタックを日本に紹介している。CIDユネスコのメンバー。



Nalini Toshniwal

ウトウパル・ゴーシャル

タブラ奏者。ビルジュー・マハーラージの国内外のツアーに多数同行。クリアーな音を持ち味とする。



Utpal Ghoshal

チャンドラチュール・バタチャルジー

シタール奏者。コルカタ在住。ビルジュー・マハーラージの海外ツアーには常に同行している。演奏の他、楽曲制作にも定評がある。



Chandrachur Bhattacharjee

■ カタックについて

カタックはインド古典舞踊の中で唯一、西アジアの影響を受けた舞踊で、北インド一帯で広く踊られている。語源はサンスクリット語の「カター」（物語）に由来。足首にグングルと呼ばれる鈴を100個から200個巻き付け、打ち鳴らしながら踊るカタックは、その軽快なフットワークテクニックから**インドのタップダンス**といわれ、また、鮮やかな旋回や素早い動きは20世紀初頭のバレエ芸術に影響を与えました。また、**フラメンコのルーツ**の舞踊のひとつであるとも言われている。

古代インドでカタカ（語り部）達の神話伝承の手段であった音楽と詩とマイムは、ムガル時代に西域の舞を取り入れた宮廷舞踊へと変遷し、20世紀後半、ビルジュー・マハーラージにより、至高の舞台芸術としての地位を確立した。

最近では、英国のコンテンポラリーダンスの寵児、**アクラム・カーン**が、カタックの表現を取り入れた独創的な作品を創り、日本でも大きな話題となったのは記憶に新しい。



■ パンディット・ビルジュー・マハーラージ招聘委員会

インドの最高峰の舞踊家パンディット・ビルジュー・マハーラージ、及び門下生の来日公演、およびカタックを紹介・普及するためのワークショップを開催する事業を通じて、インド古典舞踊カタックの魅力を紹介し、日本に於ける芸術の発展と日印の文化交流の活性化を目的とし、マハーラージの門下生である佐藤雅子、ヒンディー語、ウルドゥー語の有識者らによって、2013年に設立されました。

■ チケット販売

東京公演

Web販売：<http://birjumaharaj.miyabi-kathak.com/buy-ticket>

チケットぴあ：Pコード 435-253

Peatex：<http://birjumaharaj.peatix.com>

大阪公演

Web販売：<http://indiakansai.com/maharaj/ticket>

Stores.jp：<https://namaste.stores.jp/>

■ 外部リンク

東京公演公式サイト

<http://birjumaharaj.miyabi-kathak.com/>

東京公演フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/kathakar.tokyo.2014>

東京公演ブログ

<http://kathak.blog.so-net.ne.jp/>

大阪公演公式サイト

<http://indiakansai.com/maharaj/>